

大阪・関西万博開催に向けた御意見

御所属 株式会社 BYTHREE

御名前 吉田 貴紀 様

1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非すべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等)

<すべきこと>

- 世界のどこでも誰でも最新情報を手に入れられるようになりつつある現在、万博そのものの価値が問われていると考えます。だからこそ、2025年の万博では「新しい万博像」を打ち出すべきだと考えます。
- 来場者数増を目指すのではなく、来場者に占める外国人比率を上げるなどの考え方が必要だと思えます。
- 作り手に開かれた万博。一部の企業や団体だけが万博を作るのではなく、様々なフェーズで様々な人が“作り手”になれる万博にするべきだと考えます。特にデザイン、アート、クリエイティブの分野で多くの人に活躍のチャンスがあるべきです。
- 少子高齢化、低いままの経済成長率など、縮小方向に感じられる日本という国の、明るい未来のビジョンを示せる万博であることを期待します。

<すべきではないこと>

- 万博終了後のことを考えない企画や開発やシステム作り。多くの人・モノ・カネが動くからこそ、持続可能な仕組みが必要だと思えます。一過性のお祭りにしないでほしいです。
- 東京一極集中はすべきでないと思えます。大阪・関西はもちろん、日本全国、各地方の優秀な人材を集約して作る万博を期待します。
- 1970年大阪万博のリバイバル。過去のノスタルジーに浸るような万博は不要だと思えます。

2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs 達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

- リアルな社会実験。資本主義の次の社会システム・主義を実験的に取り入れて体験できたら面白いと思えます。例えば万博開催中、あるゾーンはベーシックインカムを採用した国、あるゾーンは全ての人間の情報がデジタル管理された国、所有という概念がない国（全てがシェア）など、SFのような生活を擬似体験できる、今までにない体験型コンテンツがあれば面白いと思えます。一定期間、万博会場内だけで生活を営むなどもできたら良いのでは。
- デザイン、クリエイティブ分野の拡張。SDGs 達成のための社会デザイン、医療のためのシステムデザインなど、今までデザインと距離が遠かった分野も「未来社会のデザイン」という命題のもと、一層クリエイティブなアイデアが生まれたら面白いと思えます。
- 大阪らしいベラボーな物。真面目でスマートなコンテンツばかりではつまらないので、奇想天外なアート作品や建築物、イグノーベル賞のようなユニークなコンテンツ、賛否両論を巻き起こすイベントなどが発生したら面白いと思えます。

3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見を申し上げます。

(例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等)

- 行列ゼロを目指すと同時に、行列時間が楽しくなるようなアイデアがあってもいいのではと考えます。並ぶ時間の長さに応じたエンタメや、並んだ分だけインセンティブが発生する仕組みづくりなど。
- 万博会場だけでなく、大阪・関西全体で万博とコンセプトを共有するイベントが発生し、その後も継続したら面白いと思います。市民団体や民間企業による、いわば「野生の万博」が開催できる仕組みが欲しいです。

4. そのほか、御自由に御意見を申し上げます。

- 「夢洲に泊まろう 2019」という市民参加型キャンペーンを開催してはいかがでしょうか。具体的な開発が始まる前の今しか見ることのできない風景を楽しみながら、そこで SDGs について語り合い、2025 年の万博に思いを馳せることができれば、万博の機運を盛り上げる良いイベントになるのではと考えます。
- 私たち（株式会社 BYTHREE、株式会社人間）は万博決定前の 2018 年 10 月にフリーペーパー「はじめて万博 最終号」を発行、万博開催決定前後の期間には「はじめて万博展」という展覧会を開催しました。協力してくださったのは、大阪を拠点に活動するアートディレクター、カメラマン、コピーライター、編集者、ファッションデザイナー、アーティスト、イラストレーターなど、クリエイティブ業界の第一線で活躍されている方々です。皆さん「大阪を良くしたい、自分たちの職能を生かして万博を盛り上げたい」とい熱い思いを持っているので、ぜひ実際の万博でも、こういった人材が活躍できる場があると幸いです。
- 2019 年 1 月から、クリエイターのための万博勉強会「EXPO STUDY MEETING」を不定期開催しています。今後も継続していくことで、万博成功の機運を高められたらと考えています。

以上